

平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

経 1：多文化共生社会へのステップアップ・プログラム（主担当部：生活・文化部）

<プログラムの目標>

国籍や民族などの異なる人びとが、対等な関係のもとで互いの文化的な違いを認め合うとともに、外国人住民を含む県民一人ひとり、NPO、企業、市町、県、国などの多様な主体が連携・協働し、主体的に多文化共生社会づくりに取り組んでいます。

<構成事業（担当部）>

- （ 1 ）みえ多文化共生ネットワーク推進事業（生活・文化部）
- （ 2 ）外国人住民サポート事業（生活・文化部）
- （ 3 ）コミュニケーション施策推進事業（生活・文化部）
- （ 4 ）外国人児童生徒教育支援事業（教育委員会）
- （ 5 ）多文化共生・国際理解推進事業（生活・文化部）
- （ 6 ）多文化共生啓発事業（生活・文化部）
- （ 7 ）外国人住民との共生社会づくり推進事業（警察本部）

<プログラムの事業費>

（単位：千円）

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	63,280	69,000	69,000	69,000
予算額等	2	56,763	63,286	52,773	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は当初予算額

<構成事業の目標> 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) ネットワークづくりに賛同し、事業参画した主体数	目標値	-	5 団体	10 団体	15 団体	20 団体
	実績値	-	6 団体	10 団体		
(2) 外国人住民からの専門相談件数	目標値	-	190 件	190 件	190 件	190 件
	実績値	-	212 件	174 件		
(3) 日本語支援ボランティア研修会への参加者数	目標値	-	100 人	100 人	100 人	100 人
	実績値	-	129 人	125 人		
(4) 一定期間集中して日本語指導、適応指導等を行う機関の設置数	目標値	-	7 か所	8 か所	9 か所	10 か所
	実績値	-	7 か所	8 か所		
(5) 国際理解研修への参加者数	目標値	-	100 人	100 人	100 人	100 人
	実績値	-	134 人	125 人		

(6) 啓発イベント等への参加者数	目標値	-	1,000人	1,000人	(1,000人) 2,000人	(1,000人) 2,000人
	実績値	-	2,800人	2,352人		
(7) 外国人住民に対する研修会等への参加人数	目標値	-	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
	実績値	2,261人	2,222人	2,287人		

目標値欄の上段括弧書きは第二次戦略計画記載値、下段は修正値

< 進捗状況（現状と課題） >

- ・多文化共生社会づくりは、居住、教育、労働環境、医療、保健、福祉、防災などさまざまな分野で多様な主体が連携して取り組むことが重要です。このため、三重県多文化共生推進会議や市町担当者による検討会を開催するなど、ネットワークの形成と連携のためのコミュニケーションの観点からの取組を進めています。
- ・具体的には、FM放送を活用した多言語による行政・生活情報の提供、医療通訳ボランティアを育成するための研修会の開催などのほか、外国人労働者を雇用する企業への対応として、国や他県、経済団体等と連携した取組を進めています。
- ・引き続き、市町を中心に多様な主体と連携し、さまざまな分野でのネットワークづくりを進めるとともに、多文化共生に向けた意識の醸成をはかるため、各種啓発活動に取り組むなど、地域における自主的な取組を促進していく必要があります。

< 平成21年度の取組方向 >

これまでの取組で培った市町、企業・経済団体、学校、庁内各部署などとのネットワークをさらに強化していきます。

多文化共生社会づくりの基礎であるコミュニケーションに関する課題に対応するため、FM放送やインターネットによる多言語での情報提供や生活相談・専門相談を行います。このほか、多様な主体による地域での活動を促進するため、日本語支援ボランティアや災害・病気時等における通訳ボランティアなどの人材育成に取り組みます。

外国人の子どもや保護者が日本で将来を描けるような情報を多言語で提供する取組を市町と連携して進めるとともに、訪伯により強化することができたネットワークを活用し、外国人住民への支援を充実していきます。当面、サンパウロ州政府が実施している帰国子弟に対する相談事業の周知をはかるなど州政府と連携を深めていきます。

市町教育委員会等と連携して、外国人の子どもたちの就学支援や学校での日本語指導、進路選択を支援する取組などを一層充実させます。

< 他の主体の参画内容 >

- ・外国人住民や学識経験者、市町のほか、NPO法人、三重県商工会議所連合会、三重県中小企業団体中央会などは三重県多文化共生推進会議に参画し、多文化共生社会づくりに向けた取組を連携して実施します。
- ・財団法人三重県国際交流財団は、外国人住民が日常生活の中で直面する疑問や悩み事に対し、適切な相談・対応を行います。
- ・日本語教室を主宰するNPOは、県が育成する日本語支援ボランティアなどと連携し、外国人住

民の日本語学習、日本文化の理解のための活動に取り組みます。

- ・医療通訳ボランティアは、外国人住民が安心して医療機関で受診できるように、通訳活動を行います。

<主な事業>

(一部新)外国人住民総合サポート推進事業

【基本事業名：51101 多文化共生社会づくりの推進】(事業(1)(2))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 6 国際化対応費)

予算額：(20) 16,564千円 (21) 12,968千円

事業概要：外国人住民を取り巻く課題を効果的に解決するため、多文化共生推進会議で連携した取組を検討するとともに、市町と連携し、専門相談などによる行政・生活相談の充実、医療通訳派遣制度の構築や普及、災害時に備えた外国人住民への支援などに取り組みます。また、外国人の子どもや保護者が日本での将来を描けるような情報を多言語で提供する取組を市町と連携して進めます。

(専門相談5回、医療通訳ボランティア研修会5回、災害時通訳ボランティア研修会4回開催予定、キャリアガイド作成予定)

(一部新)コミュニケーション施策推進事業

【基本事業名：51101 多文化共生社会づくりの推進】(事業(3))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 6 国際化対応費)

予算額：(20) 11,287千円 (21) 6,888千円

事業概要：外国人住民が地域で安心して暮らせる環境を整備するため、外国人住民を含む多様な主体と連携し、FM放送やインターネットによる多言語での行政・生活情報を提供します。また、外国人住民のコミュニケーションに関する課題を解決するため、日本語支援ボランティアの育成に取り組むとともに、養成した日本語支援ボランティアを活用し、外国人労働者の日本語や日本文化を理解する機会を提供します。

(FM番組：「Info Mie(インフォ ミエ)」毎週土曜日(英語)21:55~22:00放送予定、企業等と連携した日本語教室1会場開催予定)

外国人児童生徒教育支援事業

【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】(事業(4))

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(20) 16,144千円 (21) 15,793千円

事業概要：外国人児童生徒が日本語や学校での生活習慣を身につけられるよう、巡回相談員10名を学校へ派遣するとともに、市町が設置する「初期適応指導教室」(日本語の初期指導等を一定期間集中して行う機関)への支援などに取り組みます。また、進路ガイダンスを開催し、子どもたちの進学に向けた取組を推進します。

多文化共生・国際理解推進事業

【基本事業名：51102 多様な資源を活用した国際貢献の推進】(事業(5))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 6 国際化対応費)

予算額：(20) 17,574千円 (21) 15,124千円

事業概要：地域における多文化共生や国際貢献についての理解を促進するため、NPO、自治体職員、教職員等を対象に研修を実施します。また、県内企業等と連携し、海外から受け入れた中堅技術者の技術研修を行うとともに、多文化共生等の理解を促進するため、企業や地域住民と海外技術研修員との交流を進めます。
(多文化共生・国際理解研修1回開催予定、海外技術研修員5名受入予定)